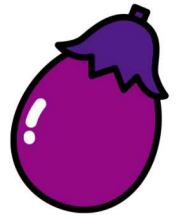


# ナスビの学校



## 準備を始めていこう

### 気が付けば、もうそこまで……

# 第1回定期テストまであと3週間!!

第1回定期テストが7月6日(月)から7日(火)にかけて実施されます。ちょうど3週間後です。「まだまだ時間はあるな」と自分を落ち着かせる人、「もう準備を始めなきゃ」と決意する人、「大丈夫。着々と準備は進めてるから」と構えをつくっている人と、様々でしょう。

宮大附属中では、年間3回の定期テストを実施します。国語科、数学科、英語科、理科、社会科の5教科での実施です(保健体育科、美術科、技術・家庭科、音楽科は、授業での取組が評価対象となります)。年間3回の実施のため、テスト範囲は広くなります。それだけ計画的・意図的な学習が求められています。

宮大附属中では、定期テストへの取組を通して、高めていきたい力があります。それは、「自己調整学習力」と呼ばれる力です。

みなさんはテスト勉強を始めようとするとき、まず何をしますか。授業で使ったワークシートを見返したり、問題集やワークを何度も解いたり、友だちと説明し合ったりするかもしれません。ただ、これらの取組を始める前に、ぜひやってみたいことがあります。それは「自己分析」です。

「私は、どの教科が特に弱いか?」「私はこの教科のどの分野・どの領域の理解が十分ではないかな?」「自分の理解状況を、自分で捉えるための取組みです。これに取り組んでいくと、「これから自分が何を、どれくらいがんばるべきか」が見えてきます。テスト勉強の計画も立てやすくなります。定期テストを通して、自分で自分の学習を調整し、よりよい状態にもっていく力を高めてみませんか?

## テストが返ってきたら……

テストを受け終わると、数日後、採点された答案用紙が返ってきます。テストの真価は、ここから問われることとなります。

テストの意義は、「今の自分の理解状況を知ること」であり、「同じ間違いを繰り返さないようにすること」にあります。答案用紙が返ってきた瞬間、もちろんテストの点数は気になるでしょう。しかし、点数を確認したあと、そのままにしておくと、せっかくテストを受けた意味が半減してしまいます。

ここで野崎昭弘さんの著書『人はなぜ、同じ間違いをくり返すのか』の一節を引いてみましょう。野崎さんはこう言っています。

「私も、点数をつけるのはランク付けという意味ではなく、生徒や学生が自分自身の理解度を測ることにあつたはず。ところが、そのための手段がいつの間にか目的となってしまう。「わかる」「この大事さが見えにくくなってしまっているのだ。」

テストは点数がつきます。

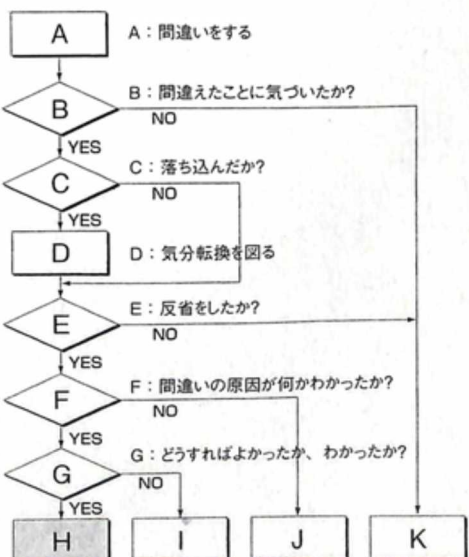
その点数の意味は、あくまでも「自分の理解度を測るためのもの」なのです。野崎さんはさらにこう言っています。

「間違いは誰にもあるものです。問題はその後でどう考えるかです。試験の点数だけを聞いてよしとする学生さんのように、間違いを認識しないのは、また間違いをくり返すことでしょう。また、間違いだとわかっていても、その意味を自分の頭で考えなければ、略、いつかはしつぱ返しを食らいます。」

野崎さんはさらにこう言っています。

「間違いは誰にもあるものです。問題はその後でどう考えるかです。試験の点数だけを聞いてよしとする学生さんのように、間違いを認識しないのは、また間違いをくり返すことでしょう。また、間違いだとわかっていても、その意味を自分の頭で考えなければ、略、いつかはしつぱ返しを食らいます。」

【図6】間違いのフローチャート



- H: 同じ間違いはくり返さない。大進歩!
- I: いろいろ考えてみたのなら、最悪の対応は避けられる。あとは反省を重ねて、最善の対応に近づける。進歩!
- J: 原因がわからなくても、考え続ければ進歩の可能性は大。粘り強く続けましょう。
- K: 進歩ゼロ。同じ間違いをくり返すうちに、「それしかない」ようになりかねない。最悪!

そして大事なことは「同じ間違いをくり返さないようにすること」なのです。野崎さんは【図6】のフローチャートを紹介しながら、間違いをしたあとの適切な行動のしかたについて説明しています。フローチャートの中の【H】に到達するように行動していくことが重要です。そうすることで、次、同じような問題に出会ったとき、最適な答えを導くことができるようになるはず。マインドセットが自分の成長を加速させるのは明らかです。

そして、このフローチャートはテスト後(答案用紙が返ってきたあと)だけに役立つものではありません。テストに向けて

勉強しているときにも、いや、そのときにこそ役立つものであるのかもしれない。テスト勉強をしているときから、このフローチャートを意識し、「H」に到達できるように行動していくことで、テストでもよりよい結果を出すことにつながる可能性が高くなるでしょう。

定期テストへの取組(事前のテスト勉強や事後のふりかえり)を通して、自分で自分の学力を調整していく(自己調整学習力)を高めていきましょう。それが中学校生活はもちろん、中学校を卒業したあとにも役立つものになっていくはず。がんばりましょう。